

## 愛媛県および高知県で採集されたカワテッポウエビ

山川宇宙<sup>1</sup>・清水孝昭<sup>2</sup>・森口宏明<sup>3</sup>・岩田和鷹<sup>4</sup>・山本貴仁<sup>4</sup>・山下龍之丞<sup>5</sup>

<sup>1</sup>筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻

<sup>2</sup>愛媛県農林水産研究所水産研究センター

<sup>3</sup>株式会社環境アセスメントセンター

<sup>4</sup>西条自然学校

<sup>5</sup>東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用環境システム学専攻



写真1 *Alpheus sp. sensu* Nomura, 1996 カワテッポウエビ (TKPM-AR 3555) . 撮影：内田年泰.

### 種の記録

Alpheidae テッポウエビ科

*Alpheus sp. sensu* Nomura, 1996

カワテッポウエビ(写真 1)

標本 徳島県立博物館節足動物標本(TKPM-AR) 3555, 1♀, 頭胸甲長(CL) 8.6mm, 岩松川(愛媛県宇和島市津島町高田), 2024年7月22日, 岩田和鷹採集, エビヤドリムシ科の一種が寄生. 3556, 1個体(性別不明), 4.9mm CL, 宗呂川(高知県土佐清水市下川口), 2025年9月18日, 山川宇宙採集. 3557, 1♂, 6.6mm CL, 柏川(愛媛県南宇和郡愛南町柏), 同月22日, 山川宇宙・清水孝昭・森口宏明採集. 3558, 1♂, 8.2mm CL, 蓮乗寺川(愛媛県南宇和郡愛南町御荘平城), 同月23日, 山川宇宙採集.

### 種の特徴

上記4標本は, 頭角先端が第1触角柄部基節第1節の半分を少し越える. 大鉗掌部の背鞍部と腹鞍部に肩をもつが, それらはオーバーハングしない. オスの小鉗指部に毛冠列がある. 第2胸脚腕節が5分節し, 第1-2分節はほぼ同長. 第3-4胸脚指節がツメ状. 第3, 5胸脚前節腹縁にそれぞれ10-13本, 8-9本の棘状剛毛をもつ. 生時, 体に明瞭な横帯模様や黒点がない. 以上が, 野村(1996)および吉郷(2009), 山川ほか(2025), 山川・山下(2025)のカワテッポウエビの特徴に一致したため, 本種に同定された.

### 備考

本種は福島県および千葉県, 神奈川県, 静岡県, 和歌山県, 兵庫県淡路島, 宮崎県, 鹿児島県, 琉球列

島から記録されている(山川ほか, 2025; 山川・山下, 2025). 本稿は本種の四国初記録となる. 上記4標本は少なくとも満潮時には海水が流入する感潮域にて, 砂礫底や砂泥底に堆積したリターやカキ殻の中, 転石の下などから採集された. 宗呂川と柏川では, 他にもそれぞれ本種1個体, 10個体以上が調査日に確認されたが, いずれも本稿に用いた標本よりも小型の個体であり, 再生産や定着しているかは不明である.

### 引用文献

野村恵一. 1996. カワテッポウエビ(仮称). マリンパビリオン, 25(8):43.

山川宇宙・山下龍之丞. 2025. 福島県藤原川で採取された北限記録のカワテッポウエビ. みちのくベントス, (9):11-16.

山川宇宙・鎌田めぐ・金森さりい・山下龍之丞. 2025. 兵庫県南あわじ市から得られた瀬戸内海沿岸初記録のカワテッポウエビ. 徳島県立博物館研究報告, (35):187-189.

吉郷英範. 2009. 日本の河口域とアンキアラインで確認されたテッポウエビ科エビ類(甲殻類:エビ目). 比和科学博物館研究報告, (50):221-273+4pls.

(2025年12月25日受付, 2025年12月25日公開)

連絡先: 山川宇宙 (e-mail: uchukawaanago@gmail.com)  
(Uchu Yamakawa, Takaaki Shimizu, Hiroaki Moriguchi, Kazutaka Iwata, Takahito Yamamoto and Ryunosuke Yamashita. 2025. *Alpheus sp. sensu* Nomura, 1996 (Alpheidae) collected from Ehime and Kochi prefectures. NS Fieldnote, 25037)